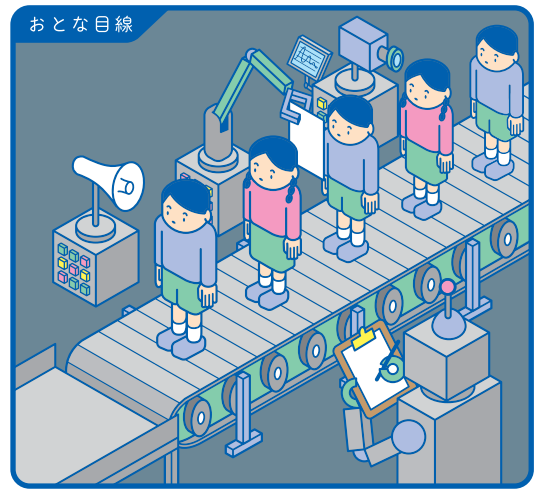




# 視 点 の さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらこどもセンターでのとあるシーンを「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



## まぶしいほどの成長を遂げた17歳

さくらこどもセンターでは2歳から高校・青年期を迎える子どもたちが学んでいます。その関わりは10年以上に及ぶ生徒も多く、自閉症スペクトラムという特性から成長時期に合わせたソーシャルスキルトレーニングが必要となるため、さくら入学後は中学を卒業するまで5年以上継続して関わる生徒がほとんどとなります。幼稚園児だった子どもたちが素敵な青年に育つ姿は感慨深く、さくらは大きな家族のようです。

今日は定期的にカウンセリングに来る高校生の女の子の話をしたと思います。彼女は幼稚園時代から当センターに通っています。中学卒業までの10年間は個別指導とSSTクラスに在籍し、小学校高学年〜中学時代は不登校のケアのためカウンセリングを行ってきました。

今日は彼女にこんな質問を投げかけてみました。

松本 『ねえ、さっちゃん(仮称)は小学校でいじめにあつて不登校になったよね。友達関係に悩んで怖くて、怖い怖いと思いつつも勇気を出して高校から復学したよね。寮生活も同時スタートで不安もいっぱいだったよね。それがもう3年生になったんだね。よく頑張ったね。聞いてもいいかなあ？昔さくらに通ってきた小学校6年生の発達障害を持つ女の子がね、こんなことを言ったの。「ソーシャルスキルなんてどれだけ頑張つて身につけたつて、結局障害のある私なんかと友達になつてくれることなんてないのよ。無駄だよ！障害があるから友達ができないんだから、もう中学に入つたら自分が障害だと知られないように隠して生きていく！」ってね。その子の言葉が今でもずっと胸に残っているんだよね。今さっちゃんの周りの子たちはさっちゃんのことなんふうに思っているの？』

さっちゃん 『変わつてると言われるよ。』

松本 『へーそれっていじわるな感じで言われるの？』

さっちゃん 『うん、それも個性だよって言ってきてる』

松本 『わー素敵だね。さっちゃん小学校の頃からずっと友達との付き合い方に悩んでいたよね。高校生活の今はクラスにイライラさせられる苦手な子はいて悩みはあるけれど、あの頃と違うのは仲良しの友だちができてきていることだよね。』

さっちゃん 『すごく大切な友達ができた。安心して話せる

**指導者の心得**

発達教育は時間をかけて寄り添うことです。昨今ソーシャルスキルトレーニングという言葉だけが広がっています。ソーシャルスキルトレーニングとは単なるマナーやルールを教えることではありません。短期指導で完了できるものでもありません。本当のソーシャルスキルトレーニングとは長い年月をかけて、刻々と変化するその子の心の成長をしっかりとらえながら積み上げていくものです。子どもが知識として知っていること。それがどうしたことなのか意味をわかっていること。そして学んだスキルを違う場面でも応用できるほどにわかり続けていること。この差を確認する目を持っていないければなりません。

友達ができたかな。私、変わつてると言われるけど変わつてるところに気づけなくなつて：変われなくなつて：だから6年生の女の子の気持ちわかるよ。』

松本 『さっちゃんとはとことん悩み考えたよね。素晴らしいなあって感じたのは1つの物事を1方向だけじゃなくいろいろな視点で見ようという努力してきたよね。その勇気と自分に挑戦する姿がすごいなあってそばでさっちゃんを見てきて感じてたよ』

さっちゃん 『学校は行って良かったことが一つある。例えば前は2時間以上かかっても英単語が5個しか覚えられなかったのが今は1時間で40個くらい覚えられるようになった。昔は努力して笑くもんじゃなかった。無駄だなと思つてた。でも無駄だと思つても辛いけどやらないで済まらなことがわかった。他の人の尺度で見たら私がついていないことは無駄に見えるかもしれないけど私にはついていない。だから無じゃない。人から見ると笑いていないかもしれないけど私はつぼみがついている。昔の自分からは何かが変わつていいるから無じゃない。だめかもしれないけど無じゃない。努力しない最下位と努力する最下位は違う。やらないと思う。』

さっちゃんの力強い成長がまぶしいと感じた今日のカウンセリングでした。私はこの10年さっちゃんからたくさんのお話を学ばせてもらいました。彼女は大学に進学して心理学を学びたいようです。発達障害に悩む子どもたちの力強い応援者になることでしよう。近い将来さくら子どもたちを支えてくれることでしょう。

保育園・幼稚園・小学校・中学校の先生の施設見学会を随時行っております。  
ご希望の方はお申し込み下さい(無料)



INFORMATION

お問い合わせ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間：平日 / 土曜 9:00~18:00]

日々の指導風景はさくらこどもセンターHP内ブログ「さくら日記」(<https://ameblo.jp/2503sakura/>)に掲載しております。ぜひご覧ください。



みんなでハンバーガーセットを作りました。今回の目標は「自分の役割がおわったあとに手伝えることがないか周りをみてみる」と。みんな意識して、声をかけあいながら行動できました。



さくらっ子クラブのクッキングでフレンチトーストを作りました。食べる前にナイフとフォークの使い方を学び上手に食べることができました！



ハロウィンが近づいてきたのでみんなで仮装パーティーをしました。



SSTで「外食時のマナー」について学びました。声のボリュームや注文する練習など、実際の場面で想定した内容です。



エリクソン校でとれたオクラでハンコを作りました！自然の物を使って楽しい遊びができました！



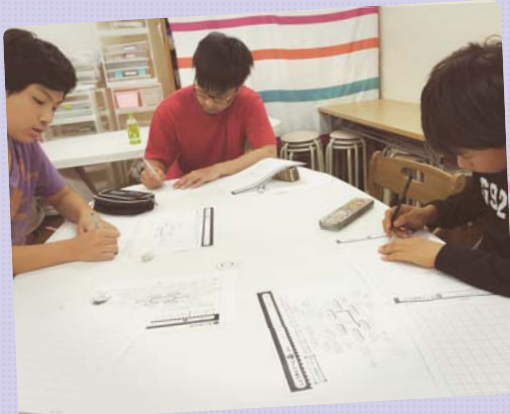
英会話教室では、画用紙から何かが浮かび出てきました！アルファベットだけでなく、色の名前も学ぶことができました。



工作の時間は、道具を大切に扱うこと、お友達と仲良く一緒に使うことを学ぶ場にもなっています。



8月からフラワー校のケイキマナスクールでは個別指導がスタートしました。『できた、わかった、うれしい、たのしい』を小さなうちからたくさん感じられる指導を心がけています。



テーマの言葉を決めて、その言葉から連想される言葉を書いていくダヴィンチ・マップ。あつという間に原稿用紙が埋まりました。



## 9月の活動報告

ACTIVITIES IN SEPTEMBER

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から9月の活動をピックアップしました。



絵本の読み聞かせでは、読むスピードをコントロールしたり、文章を短くまとめたりと子どもたちが絵本の世界を楽しめるように様々な工夫をしています。



聞き取り学習では、先生の言葉を聞いて言葉に合うジェスチャーをします。注意深く聞き取ること、瞬時に判断する力を高めます。



英会話教室で顔のパーツを英語で練習しました。みんなで協力し完成です！



さくらっ子クラブでは新たにITクラスがスタートしました！



さくらでは、一人ひとりの発達検査データに基づき1000種類以上ある教材の中から、その子の発達に丁寧に合わせた教材を取り組んでいます。



みんなでカードとりをしました！事前にカードをとれなくても怒らない、泣かないと約束したのでみんな楽しく遊ぶことができました。



お友だちや先生と談笑しながら工作をしてカラフルでかわいい車や機関車ができました！



SSTではペアで夏休みの出来事を報告し合ったあと、聞き取ったことを1分間にまとめてスピーチをしました。メモを取りながら友達の話をしっかり聞き取ることができていました。